

51:15 主は、御力をもって地を造り、知恵をもって世界を堅く建て、英知をもって天を張られた。

51:16 主が声を出すと、水のざわめきが天に起こる。主は地の果てから雲を上らせ、雨のためにいなずまを造り、その倉から風を出される。

51:17 すべての人間は愚かで無知だ。すべての金細工人は、偶像のために恥を見る。その鑄た像は偽りで、その中に息がないからだ。

51:18 それは、むなしいもの、物笑いの種だ。刑罰の時に、それらは滅びる。

51:19 ヤコブの分け前はこんなものではない。主は万物を造る方。イスラエルは主ご自身の部族。その御名は万軍の主である。

51:20 「あなたはわたしの鉄槌、戦いの道具だ。わたしはあなたを使って国々を砕き、あなたを使って諸王国を滅ぼす。

51:21 あなたを使って馬も騎手も砕き、あなたを使って戦車も御者も砕き、

51:22 あなたを使って男も女も砕き、あなたを使って年寄りも若い者も砕き、あなたを使って若い男も若い女も砕き、

51:23 あなたを使って牧者も群れも砕き、あなたを使って農夫もくびきを負う牛も砕き、あなたを使って総督や長官たちも砕く。

51:24 わたしはバビロンとカルデアの全住民に、彼らがシオンで行なったすべての悪のために、あなたがたの目の前で報復する。・・

主の御告げ。・・

「世界を堅く建てる」のは主です。その主が世界の導き手なので、これほど確実なことはありません。そしてその主がバビロンを滅ぼすのですから、

ら、その存在はむなしいものとなるのは当然です。一方、その主が「ヤコブの分け前はこんなものではない。」というのですから、これほど心強いことはありません。

そのヤコブはなぜ主から守られるのかというと、それは選びの民だからです。これは救いのために選び分けられたクリスチャンの特権でもあります。私たちは主から選ばれたものなのです。選びとはそれほどに決定的なものです。

もちろん選ばれたからといって、自分勝手な不従順が認められるわけではありません。イスラエルも神様からの懲らしめがありました。私たちも同じです。しかし、最後は敵であるバビロニアの「戦車も御者も砕き」、主はイスラエルを救ってくださるのです。

私たちも、主イエスの十字架によって罪赦されているということは、選ばれているのだと確信して、主に頼り歩んでゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

